

## 臨床研究情報

当院で経皮的冠動脈形成術を受けられた患者さん・ご家族様へご協力をお願い

NTT 東日本関東病院循環器内科では、以下の臨床研究を実施しております。

この案内をお読みになり、ご自身がこの研究の対象者に当たると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究にご自身の診療記録を使用して欲しくないとのご意思がある場合は、遠慮なく下記の問い合わせ先、もしくは倫理・医療監査委員会事務局へご連絡ください。

### 研究課題名

---

右冠動脈への経皮的冠動脈形成術施行患者におけるひんじ運動とステントエッジ周囲再狭窄の関係性に関する検討

### 研究実施機関

---

NTT 東日本関東病院 循環器内科

### 研究責任者

---

NTT 東日本関東病院 循環器内科 神馬崇宏 生富公康 山崎正雄

### 研究の意義と目的

---

冠動脈に薬剤溶出性ステントを留置した後に、ひんじ運動という血管の屈曲運動が生じる場合があります。過去の研究ではその運動がステント再狭窄など不良な臨床転帰に関与する可能性が報告されていますが、現在使用されている新しい薬剤溶出性ステントに関するデータは十分ではありません。本研究は当院で新世代薬剤溶出性ステントを留置された患者さんの経過から、ひんじ運動とステント再狭窄の関連性を調べることで、ステント再狭窄のメカニズムやより良いステント留置手技を明らかにすることを目的としています。

### 対象となる方

---

2009年3月から2019年3月に当院で右冠動脈に新世代薬剤溶出性ステントを留置され、追跡冠動脈造影を施行した患者さんを対象としています。

### 実施方法

---

患者さんの情報（年齢、性別や既往歴等）をカルテから収集するとともに、冠動脈形成術施行時、追跡冠動脈造影検査施行時の造影所見、血管内イメージング所見（ひんじ運動の

程度、ステント留置部位、血管径等)を解析します。得られた情報に対し統計学的処理を行ってステント内再狭窄の有無や、標的病変再灌流といった評価項目との関連を調べます。

## 実施期間

---

2009年3月～2020年6月

## 個人情報の取り扱い

---

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては、特定の個人を識別することができないように匿名化して扱います。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

## 本研究への参加を御希望されない場合

---

患者さんやご家族（ご遺族）が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。ご自分のデータの使用をお断りになっても、治療に不利益を受けることはありません。

## 研究資金、利益相反に関して

---

本研究は、外部の企業などからの資金提供は受けておらず、研究者が企業などから独立して計画し実施するものです。従いまして、研究結果及び解析などに影響を及ぼすことはございません。

## 問い合わせ窓口

---

NTT 東日本関東病院 循環器内科 神馬崇宏 山崎正雄

東京都品川区東五反田 5-9-22

電話番号 03-3448-6111(代表)

## 倫理・医療監査委員会事務局

---

運営企画部 総務担当 木村・金久保・藤本

電話 03-3448-6651